

*English follows Japanese.

番号	項目	内容
1	奨学金No.	25
2	奨学金名称	小林財団（一般奨学金）
3	応募方法	学内選考あり(推薦者数は2名[学部生1名・大学院生1名])
4	支給額	学部生：月額15万円 大学院生：月額18万円
5	支給期間	2025年4月～在学課程最終年度まで。学士および修士課程の学生は2年間、博士課程は3年間。 ただし2025年4月時点で各課程の最上級学年の場合、上級課程に進学しない場合は1年間である。上級課程に進学する場合は、それぞれ2年間または3年間の範囲内で継続が可能。
6	応募資格・条件	<ul style="list-style-type: none"> 日本以外の国籍を有し、アジア諸国から来日している私費留学生 2025年4月1日現在で学部3,4年生(6年制学部は5年生以上)および正規の大学院生(留年なし)であること。 2025年4月1日現在で35歳以下の者。 修学のために経済的援助を必要とする者で他の奨学金を受けていない者(ただし、月額5万円以下の奨学金の受給は可)。 学業、人物ともに優秀であり、健康である者。 国際理解と国際友好親善に寄与できる者。 奨学生交流会(年3回、うち1回は研修旅行)に出席できる者。 将来、学術振興会の特別研究員事業、科学技術振興機構の次世代研究者挑戦的研究プログラム等の各種支援事業並びに他の奨学金への応募を希望する者は、応募できません。
7	奨学生の義務	<ul style="list-style-type: none"> 奨学生交流会(年3回、うち1回は研修旅行)に出席できること。 理事長から求めがあったときは、奨学生は学習成績を含む学習の状況及び生活について報告書を提出しなければならない。
8	日本語能力	日本語による意思伝達が可能である者(日本語能力試験2級程度以上)。 ・申請書類は日本語で本人直筆での作成が必要(200字以内の2つの作文を含む)。
9	応募期間	2025年1月15日(水)～1月28日(火)17時
10	学内選考結果発表	2025年2月3日(月)頃 応募者に対し大学メールにて通知する
11	学内選考で提出する書類	(1)学内選考用申請書 (2)成績証明書
12	財団へ提出する書類	(学内選考を通過した場合) (1)奨学金申請書(所定の様式) (2)履歴書(所定の様式) (3)身上書および別添記入用紙(所定の様式) (4)在学証明書(大学院各課程入学予定者は、合格通知書(入学許可書)の写し) (5)在留カードの表面および裏面の写し (6)成績証明書(直前課程のもの又は入学試験の成績・順位等) (7)学部長、学府長または指導教員による推薦書 *このうち、(1)-(3)は本人が日本語で手書きしなければならない。
13	備考	財団の選考時に面接はない。

(This document is translated using the AI translator DeepL.)

No.	Item	Contents
1	Scholarship No.	25
2	Name of Scholarship	Kobayashi Foundation
3	Application Process	on-Campus Selection (Number of nominees: 2[Undergraduate:1 / Master, PhD:1])
4	Stipends	Undergraduate : ¥150,000 / month Master, PhD : ¥180,000 / month
5	Duration	From April 2025 to the final year of the enrolled program. Two years for bachelor's and master's students and three years for doctoral students. However, if the student is in the final year of each program as of April 2025, the duration is one year if the student does not go on to an advanced program. If the student is going on to an advanced course, it is two or three years, respectively.
6	Eligibilities and Disbursement Requirements	<ul style="list-style-type: none"> • Non-Japanese nationals and privately-funded international students from Asian countries. • Applicants must be 3rd, or 4th year undergraduate students (6 year program: 5th year and over) and full-time graduate students as of April 1, 2025.. • Applicants must be 35 years old or younger as of April 1, 2025. • Those who are in need of financial support for their studies due to difficulties in continuing their studies and are not currently receiving any other scholarships (Scholarship recipients are eligible to receive a scholarship of 50,000 yen /month or less). • Applicants must be in good academic and personal standing and in good health. • Those who can contribute to international understanding and international friendship and goodwill. • Attend all scholarship student social events (scheduled three times a year, one of which will be an study trip). • Those who wish to apply for the JSPS Postdoctoral Fellowship Program, the Japan Science and Technology Agency's the Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation, or other scholarships in the future are not eligible to apply.
7	Scholar Obligations	<ul style="list-style-type: none"> • Attend all scholarship student social events (scheduled three times a year, one of which will be an study trip). • When requested by the President, scholars must submit a written report on their studies and daily life, including their academic performance.
8	Japanese Language Proficiency	Applicants must be able to communicate in Japanese (JLPT level 2 or above). • The application documents must be written in Japanese by your hand (Include two essays of 200 words or less).
9	Application Submission Period	Wednesday, January 15, 2025 - Tuesday, January 28, 2025 at 5:00 p.m.
10	On-campus selection results	Around Monday, February 3, 2025 Results will be sent to Kyushu University Primary Mail Service account.
11	Required Documents (for on-Campus Selection)	(1) Application form for on-campus Selection (2) Transcript(a copy is acceptable)
12	Required Documents (for Foundation)	<p>If you pass the on-campus selection process, the following documents are required.</p> <p>(1) Scholarship Application(prescribed form) (2) CV(prescribed form) (3) Personal Statement and Attachment Form(prescribed form) (4) Certificate of enrollment(A copy of the letter of acceptance (letter of admission) for those who plan to enroll in a graduate course) (5) Copies of the front and back of the resident card (6) Transcript(Those of the immediately preceding course or entrance examination results, rank, etc.) (7) Recommendation letter from the dean or supervisor No. 1-3 must be hand-written in Japanese by your hand.</p>
13	Comment	There is no interview during the Foundation's selection process.

令和7年度（2025年度）

公益財団法人小林財団外国人留学生奨学生募集要項

（一般奨学金）

1. 応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、アジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院に在学する者で、2025年4月1日現在、35歳以下の者
- (3) 修学のために経済的援助を必要とする者で、他の奨学金を受けていない者
(ただし、月額5万円以下の奨学金受給は可)
- (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康である者
- (5) 日本語による意思伝達が可能である者（日本語能力試験2級程度以上）
- (6) 国際理解と国際友好親善に寄与できる者
- (7) 奨学生交流会（年3回を予定。うち1回は研修旅行）に出席できる者

注) なお、次の者は除外します。

- ・将来、学術振興会の特別研究員事業、科学技術振興機構の次世代研究者挑戦的研究プログラム等の各種支援事業並びに他の奨学金への応募を希望する者

2. 新規募集人員 27名程度（財団の年間奨学生55名）

3. 対象学年

学部学生の場合 : 2025年4月現在、3年次生以上（6年制学部、5年次生以上）に在学する者

大学院学生の場合 : 2025年4月現在、正規生として在学する者
ただし、所定の必要最小限の修業年限内の者（いわゆる留年なし）を原則とする。

4. 奨学金 学部生 月額15万円 大学院学生 月額18万円

5. 奨学金支給期間

学部学生、大学院学生ともに、支給開始年度から在学課程最終年度まで、すなわち、学部及び修士（博士前期）課程学生は2年間、博士（博士後期）課程学生は3年間を原則とする。

ただし、学部及び修士課程の最上級年次の奨学生は、原則として1年間とするが、上級課程に進学した場合は、それぞれ最長2年間又は3年間の範囲内で継続が可能。

6. 募集方法

大学を通じて募集する。

7. 応募の手続き

次の書類を揃え、在学する大学において指定する日までに、大学の事務局に提出する。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
- (2) 履歴書（所定の様式）
- (3) 身上書（所定の様式）
- (4) 在学証明書（大学院各課程入学予定者は、合格通知書（入学許可書）の写し）
- (5) 在留カードの写し（住所、氏名、在留資格の確認）
- (6) 成績証明書：直前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等
- (7) 推薦書（学部長、研究科長又は指導教員による封緘書）
用紙は、A4サイズで1頁

8. 選考及び決定

推薦された者について、本財団に設置する選考委員会の選考を経て、理事会が奨学生を決定する。

採用決定者については、4月下旬、大学及び本人に通知する。

9. 奨学金の支給の停止又は打切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の支給を停止又は打ち切ることがある。

- (1) 一月以上病気等により又は理由なく長期欠席したとき
- (2) 休学又は外国へ留学したとき
- (3) 在学する大学における学籍を失ったとき
- (4) 学則により処分を受けたとき
- (5) 病気その他の理由により成業の見込みがないとき
- (6) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- (7) 無断で奨学生交流会を欠席したとき
- (8) 妊娠、出産等で学業が一時継続できなくなると判断されるとき
- (9) 応募書類の記載事項に重大な虚偽が発見されたとき
- (10) 本財団又は本財団の支援企業（者）の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
- (11) その他留学生としての資格を失ったとき

10. 報告書の提出

奨学生は、理事長から求めがあったときは、学習の状況（学業成績を含む。）及び生活状況について報告書を提出しなければならない。

11. 注意事項

この要項に記載してある事項について不明の点があれば、大学の事務局に照会すること。